

高等学校 芸術科（美術）

美術 I（1年）絵画 単元名「オリジナルストーリーの絵画をつくろう」

府立東住吉総合高等学校 教諭

I 単元を通して育成をめざす資質・能力

【めざす生徒の学ぶ姿】

- ・「絵巻物」を鑑賞し、画面が連続する絵画のもつ魅力を感じながら、日本の伝統的な絵画の表現の特質について理解が深められる。
- ・他者と協同することで互いの発想や構想、表現方法の良さを知り、作品制作に生かすことができる。

【学習指導要領(平成 30 年告示)解説 芸術編との関連】

「美術 I」 A 表現 (1) 絵画・彫刻 ア イ、B 鑑賞 ア (ア) イ (イ)、〔共通事項〕

知識及び技能	・日本の伝統的な美術の表現の特質や様式を理解することができる。 ・主題を効果的に伝えるための表現方法を模索し、創意工夫して表現している。
思考力、判断力、表現力等	・横に展開する絵画の特質を生かしたストーリーや色彩や構成など、創造的に表現の構想を練っている。 ・他者の表現の良さや工夫を感じ取り、自身の見方や感じ方を深めることができる。
学びに向かう力、人間性等	・日本の伝統的な美術の表現の特質や様式に関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。 ・グループの話し合いで自分の意見を伝えることができ、他の生徒の意見を尊重しながら、協力して取り組むことができる。

II 単元計画(資質・能力育成のプロセス) 全9時間

時	めざす生徒の姿	学習活動・学習内容	教師の支援・指導 (★深い学びを生み出す工夫)
1・2 (第1次)	「『絵巻物』の表現の特徴がわかった。その特徴を生かした表現はどういうものだろう」	<p>○「絵巻物」の表現の特徴や良さについて考える活動 →「異時同図法」の理解</p> <p>・横に展開する絵画の特性を発表・交流し、ワークシートに記入しながら整理する。</p> <p>○ストーリーのアイデアを出し、グループで話し合い、深める活動</p> <p>・①テーマ②主人公③おおまかなストーリーを各自でそれぞれ3つ以上考案し、箱に入れてその中から5枚程度を引き出し、選んだものについて話し合い、一つに決定する。</p> <p>・個人でアイデアスケッチを考える。</p>	<p>○「信貴山縁起絵巻」をプロジェクターで投影して、横にスクロールしながらストーリーを追うことで、右から左へ時間と空間が推移する様を実際に体験できるようにする。</p> <p>「絵画」と比較して「絵巻物」の特徴は、何だろう」</p> <p>ポイント①</p> <p>★絵画と比較考察し、その特徴を整理することで「絵巻物」が現在のアニメーションや映像技術に発展する日本独自の美術様式であることを主体的に発見し、理解できるようにしている。</p>



3・6 (第2次)	「自分の知らなかった考え方や表現方法がいろいろあるなあ。意見を参考に、もっとこうしてみたらどうだろう」	<p>○グループでストーリーや発想や構想をまとめ、確定する活動</p> <p>・個人で考えたアイデアスケッチをグループで発表しあい、決定する。</p> <p>○パートを決めて下描きを描く</p> <p>・適宜相談しながら構想を深めるようにする。</p> <p>○作品の進捗状況を確認めながら、自分のパートを着彩する</p> <p>・適宜相談しながら表現方法を深めるようにする。</p>	<p>○「作品全体を貫く1本の曲線を生かした画面構成を考える」という制限を与えることにより、時間と空間が一枚の絵画の中で推移する「絵巻物」の特徴を無理なくアイデアスケッチに生かすことができるようにする。</p> <p>(例) 4枚を一度つなげてから、一本の曲線を引く</p> <p>「グループで相談しながら、よりよい表現方法を追求してみよう」</p> <p>★一枚の絵を共同で制作する題材設定のため、自分にはないアイデアや表現方法を互いに相談しながら発見できる場面が作りやすい</p>
7 (第3次)	「もっと作品をよくするためにはどうしたらいいのかな、他の人の意見も聞いてみよう」	<p>○作品をつなげ、グループで相談しながら加筆、調整し、全体をまとめる活動</p> <p>・全体をみて、さらに改善点はないか、グループで相談する。</p>	<p>この部分の工夫は言っておきたいよね!</p> <p>ここもやで。</p>
8・9 (第4次)	「なるほど、そういうアイデアや表現方法もあるのか。次の制作で活かしてみよう」	<p>○完成した作品をグループで鑑賞し、発表内容をまとめる活動</p> <p>・メンバーの紹介、ストーリーや各シーンの説明、作品のみどころ、表現の工夫などの発表内容をワークシートに記入し準備する。</p> <p>○発表、相互鑑賞</p> <p>・鑑賞を通して気づいたことやわかったことをワークシートに記入し、整理する。</p>	<p>ポイント②</p> <p>「他の人の意見を聞いて、良かったところ、面白いと思ったアイデアは何ですか」</p> <p>★発表を聞いて、新しく気付いた見方や考え方でさらに作品を鑑賞させたり、自分と他者が考えたことの違いをもとに作品を捉え直すよう促す。</p>

III 深い学びを実現するための指導の工夫

◆「A 表現」と「B 鑑賞」を相互に関連させ、学びを深める (第1、2時)

「絵巻物」の鑑賞で学んだ知識、表現の特徴や工夫について考えることが、自分の作品の構図や表現の工夫を考える力を高めることにつながっている。鑑賞活動が、その後の制作において主体的に取り組む態度を生み出している。鑑賞の学習では、一人ひとりが自分の見方や感じ方をもち、自己と対話する時間を十分に保証することが大切である。

◆生徒同士で対話交流し、自身の学びを深める (全時を通して)

本題材では、発想や構想を練る場面や創造的に表現する場面で、グループのメンバーと対話交流し、考えをまとめる時間が多く設定されている。交流やワークシートなどの言語活動を通して、自分の気付かなかったアイデアや表現方法を発見し、新しい価値を見出すような学びとなっている。ただし、言語活動を行う際は、「何のための言語活動なのか」という事を明確にして、形式的に行ったり、〔共通事項〕※に示す視点が十分でないままの単なる話し合い活動に終始しないように留意する必要がある。

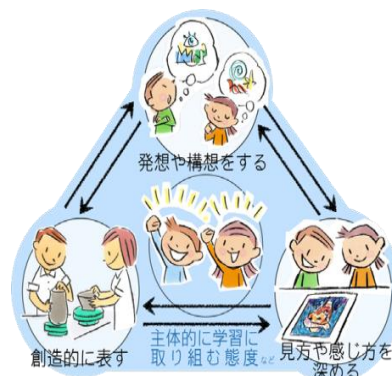
※〔共通事項〕とは、造型的な視点を豊かにするために必要な知識として、平成30年告示 学習指導要領に新しく設けられた指導事項。形や色彩、材料や光などの造形の要素の働きを理解することや、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解すること、をいう。

IV 生徒はどのような学びを実現したか

○他者との交流から見方や感じ方を広げ、表現や鑑賞の能力を深める姿

「学び」は、知識を習得することにとどまらず、それらを活用し自ら探究することでさらに深まる。他者と交流し学びあうことで、自分では気づかなかった見方や感じ方を広げることができ、思考する場面は増えるだろう。この実践では振り返りの記述をみても、生徒自身が交流を通して自分の考え方が変化したり深まることに意義を見出していることがうかがえる。交流し学びあう態度が、今後の学習においても活かされることが期待できる。

また、日本独自の伝統的な表現や価値観が、現代の生活にも息づいていることを知ることは、新しい知識を日常と関連付けることができ、実感を伴いながら、より深い学びとなる。



ポイント①

第1次

☆自分で思考し、発見する！

美術Ⅰ「オリジナルストーリーの絵画を作ろう」 名前

「信貴山縁起絵巻」をみて気付いたこと、面白いと思ったことを書こう。

自分で気づいたこと

- ・
- ・
- ・

他の人が気付いたこと

- ・
- ・
- ・

絵巻物の特徴は？

- ① の経過があらわしやすい。
- ② が表しやすい。
- ③ 時に風景を使う。

(授) スクロールの意味は何だと思ふ？ scroll=巻物。巻く。紙の巻物を読む動作のことをいうんだよ。

(生) なるほど、横に長く展開する絵巻物の読み方は、スマートフォンのスクロールの動作に似ているなあ。

(生) 現在のアニメーションや映像技術につながっているんだ！

【振り返りシートについて】

毎時終わりの「振り返りシート」も効果的だった。

生徒自身が「何ができるようになればいいのか」（授業のねらい（評価規準））を自然に理解することができるように機能していた。「この題材で何を学ぶのか、何ができるようにするのか」を生徒が理解できていることは、学習の見通しがたち、主体的な学習を支える大切な要素といえる。

授業者はココを見る！

単純にそれぞれが絵を一枚ずつ描いてつなげて1枚にする活動ではなく、他者と協働することで、発想や構想を深めることができているか。意見を交流することで表現の方法を練ることができているか。

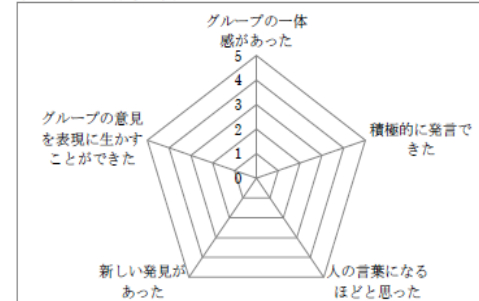


(授) 絵画と比較して「絵巻物」の特徴や違いは何か？
(生) ぼんやりと感じていた内容が、知識として理解できたぞ。(? → !)

絵巻物の特徴(生徒の記述より)

- ・文字がない ・ファンタジー感
- ・画面の区切りがない
- ・右から左に絵が流れていく
- ・一人ひとりの表情がわかりやすく描かれていて感情を読み取りやすい
- ・起承転結がしっかりしている

今日の学びを数字で表そう



ポイント②

第4次

☆他の人の作品のよさを知って、自身の表現に活かす！

本時の進め方

- ① グループで発表者を決める
- ② グループで発表することをまとめる (15分)
- ③ 前に出て発表する (3分)
- ④ 発表者以外はワークシートに良かったところや面白かったアイデアを記入する
- ⑤ 鑑賞者から感想や新しく知ったことなど発表する



鑑賞発表・交流会の様子

ワークシートの問い

- ① よかったところ
- ② 面白かったアイデア
- ③ グループの人の意見聞いて参考にしたこと、よかったことは何ですか。
- ④ 絵の表現で工夫したところは？

授業者はココを見る！

他者の表現の良さや工夫を感じ取り、新しく知ったことをワークシートに整理し、自身の見方や感じ方を深めることができているか。



【単元を終えた後の、振り返りの記述】

- ・こんなに協力できると思っていなかった。いろんな意見を聞いて自分が知らなかったことなどが知れてよかったです。楽しかったです。
- ・意見を聞きながらできるので、より良いものが出来た
- ・友だちの発想に「なるほど」と思いました。・今回は思ったとおりに色塗りが出来て、自分の個性を上手に表現できた。
- ・みんなで意見を出すことで自分の考えが変わったり、リスペクトがあったりとても良かった。
- ・いろいろな人の意外な一面があってびっくりした。・一本の線をいろいろな色にしようという意見になるほど、と思いました。

みんなの意見があることで、自分だけが思っていたことと違って、表現できた。みんなで作ったのが、達成感があった。

V 実践を終えて

授業者より

本実践は、協力して1枚の絵画を制作することで、自己と他者を意識し、自らの考えを広げていくことを目的とした。本授業の美術選択者は、あまり人前で話すことが得意ではない生徒が多い。グループで作品制作をするにあたり、どのようにすれば、意見を活発に交換させることができるようになるかを考えた。

テーマや主人公を考える最初の段階で、紙に自分の意見を書いてもらい、箱に入れるという匿名性を持たせるところからスタートし、続いてグループで決めたテーマから発想し、個人で考えたアイデアスケッチを出し合っただけの話合い、さらに制作しながら意見を出し合うというように少しずつ段階を踏ませた。

はじめは自己紹介すらままならなかった生徒が、授業を迫るごとに、活発に意見を交換するようになり、徐々にお互いを認めあえるようになった。その中で自分の役割を意識して制作し、さまざまな価値に気付くことができるようになった。またグループで制作することで「制作の純粋な喜び」を感じている様子だった。アンケートの結果をみても、1人で制作するよりもグループで制作するほうがよかったと答える生徒が圧倒的に多かった。

本実践ではオリジナルストーリーを考える、ワークシートを書くなどの、言語活動が多くあった。その時に生徒たちの美術に関する語彙の少なさがめだったことが課題である。今後は、鑑賞の授業をグループで行うなど「作品のよさ」を言語化する経験を積ませ、造形の専門用語を用いながら根拠をもって伝える力を育てていきたい。